梅 許 協 力 条 約

.

REC'D	10	MAR	2005
WIPO			PC

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			_				
出願人又は代理人 の書類記号 PP13431WO	今後の手続きについて	t、様式PCT/1 	PEA/416	を参照する。			
国際出願番号 PCT/JP03/16508	(p. p. +)	2. 2003	優先日 (日.月.年)		2002		
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ A23L1/30, A23L1/20, A23L2/00, A61K31/352, A61K31/7084, A61K35/78, A61P15/12, A61P19/10, A61P43/00, C07H17/07							
出願人 (氏名又は名称)	不二製油株式会社						
1. この報告書は、PCT35条に基づ 法施行規則第57条 (PCT36条)	の規定に従い云門りる。			ある。			
2. この国際予備審査報告は、この表紀		~ ;	ジからなる。				
3. この報告には次の附属物件も添付さ a M属む類は全部で	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~						
補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)							
第1欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙							
			/ <i>6</i> 2-7	媒体の種類、	粉を示す)		
b 電子媒体は全部で			(電子	操作の催知、	飲むかりん		
b 1 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示 ブルを含む。(実施細則第	すように、コンピュータ 802号参照)	読み取り可能な形 ^元 ·	式による配列表)	人は配列表に	奥座 りる ノ		
4. この国際予備審査報告は、次の内	容を含む。				,		
第IV概 発明の単一 図 第V概 PCT355 けるための	b性又は産業上の利用可能 生の欠如 条(2)に規定する新規性、 文献及び説明	^{能性についての国際} 進歩性又は産業上	受予備審査報告の の利用可能性に)不作成 ついての見解	『、それを裏付		
□ 第VI欄 ある種の引。 □ 第VI欄 国際出願の □ 第VI欄 国際出願に	不備						
国際予備審査の請求啓を受理した日26.05.200	1	国際予備審查報告	告を作成した日 17.02.	2005			
名称及びあて先		特許庁審査官(林	権限のある職員)	[4N 8114		
日本国特許庁(IPEA/ 郵便番号100-89	ЈР) 15	. 鈴木	: 惠理子	_	<u> </u>		
理度番号100-65 東京都千代田区館が関三丁	目4番3号	電話番号 03	-3581-1	101 内線	3448		

第1 欄 報告の基礎
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。
□ この報告は、 語による翻訳文を基礎とした。 それは、次の目的で提出された翻訳文の官語である。 □ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査 □ PCT規則12.4にいう国際公開 □ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査
2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)
× 出願時の国際出願書類
明細密 ページ、出題時に提出されたもの 第 ページ*、 第 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
請求の範囲 項、 出願時に提出されたもの 第 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの 第 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 項*、 「項*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
図面 ページ/図、出題時に提出されたもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。
3.
請求の範囲 第 図面 第 配列表(具体的に記載すること) (具体的に記載すること) 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) (具体的に記載すること)
4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
□ 明細書 第 項 項 項
* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/16508

新規性、進歩性又は産業上 それを裏付ける文献及び説	の利用可能性についての 明	の法第12条(PCT35条(2))に対 	Eめる見解、
見解			
規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-8	有
歩性(I S)	請求の範囲 請求の範囲	1-8	
業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-8	
	新規性、進歩性又は産業上 それを裏付ける文献及び脱 見解 規性 (N) 歩性 (IS) 業上の利用可能性 (IA)	それを裏付ける文献及び説明 見解 規性(N) 請求の範囲 請求の範囲 お性(IS) 請求の範囲 需求の範囲	見解 規性 (N)

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

引用文献1: JP 4-266898 A (阿保 定吉) 1992.09.22

(ファミリーなし)

引用文献 2: JP 2002-80474 A (株式会社ホーネンコーポレーション) 2002.03.19

(ファミリーなし)

引用文献 3: JP 2000-50839 A (不二製油株式会社) 2000.02.22

(ファミリーなし)

請求の範囲1-8に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1-3に対して進歩性を有する。文献1-3にはイソフラボン含有組成物であって、該組成物中におけるイソフラボンとサポニンの総量を100重量%とした場合に、マロニルイソフラボンの配糖体が15-95重量%、マロニルイソフラボン配糖体以外のイソフラボンが0-50重量%、及びサポニンが5-60重量%含有されるもの。が記載されておらず、しかもその点は、文献1-3から当業者といえども容易に想到し得ないものである。